

令和 6 年度 第 3 回美咲町行財政改革審議会

開催日：令和 6 年 1 0 月 2 8 日（月）

1. 協議事項

(1) 行政経営の推進

公の施設に関する使用料の見直しについて

●担当課：理財課

●審議内容：合併以来、消費税の改正を除いて一度も見直しをしていなかった使用料及び手数料。今回は公の施設の使用料に着目し、町内施設の収入・支出の推移を見ながら、使用料の現状や課題点を確認し、今後検討すべき事項について審議しました。

●現状や課題、問題点など●

- ・物価や光熱費は年々高騰する中、合併以来一度も料金の見直しができいてない。
- ・施設の維持経費に対して、料金収入はかなり少ない状況。
- ・現状の料金設定が適切な受益者負担(※)となっているか、調査分析が必要。
- ・減免(※)対象範囲の統一的な基準がなく、標準化・適正化の検討が必要。

※適切な受益者負担 … 公の施設について、施設の利用者と未利用者における負担の公平性を確保するため、利用者には施設利用の対価として、相応の使用料の負担を求めるべきであるという考え方。

※減 免 … 特例的に施設の使用料を減額もしくは免除する措置のこと。

1. 協議事項

(1) 行政経営の推進

公の施設に関する使用料の見直しについて

▼審議会委員からの主な意見▼

- 5年後、10年後にその施設の利用状況がどうなっているのか、将来を見据えた料金設定が必要だと思います。
- 減免については、時代背景に応じた見直しをしましょう。
- 物価や光熱費がこれだけ高騰しているということは、実質値下げの状態です。料金の見直しを検討するべきだと思います。
- 施設の使用料には、小規模多機能自治や指定管理者制度(※)などの様々な要素が絡み合っているので、見直しの際にはそこも1つの論点として審議する必要がありますね。

※指定管理者制度 … 公民連携手法の1つで、公の施設を民間の事業者等に管理してもらう制度のこと。

1. 協議事項

(2) 住民との協働

小規模多機能自治の推進

●担当課：地域みらい課

●審議内容：これまで取り組みを進めてきた小規模多機能自治について、各地域運営組織の状況や、少子高齢化・人口減少などの課題に対する今後検討すべき事項について審議しました。

●現状や課題、問題点など●

- ・現状の取り組みの進め方について
- ・進捗状況に応じた支援策の検討
- ・認定後の協議会に向けた、新たな仕組みづくりの検討

1. 協議事項

(2) 住民との協働

小規模多機能自治の推進について

▼審議会委員からの主な意見▼

- 各地域運営組織のリーダーさんが集まる会議では、かなり活発に情報交換ができるようになっていと感じます。地域の声がしっかり挙がる場になるよう進めていきたいですね。
- 協議会ごとで様々なアイデアが生まれ、それを行政が受け止められるような仕組みづくりが出来ると良いですね。
- 少子高齢化が特に進む地域では、近い将来運営が難しくなることが予想されます。若い世代の方が活動に参加してもらえる方法や、近隣のまちづくり協議会と合併するなど、今後の方向性を検討していきましょう。